

わが家の草花は冬でも 枯れたことはありません



輻射熱暖房のまろやかさは

植物の生育には最適

合田弘之

ランの栽培に欠かせない 4つの条件とは

「ランの栽培はむずかしい」という人がいますが、決してそんなことはありません。基本的な条件さえ整えてやれば、誰でも簡単に栽培でき、家庭でも美しい花を咲かせることが

できます。

基本的な条件というのは適正な温度と湿度を保ち、日光と新鮮な空気を与えてやることです。これはランばかりでなく、すべての植物の栽培に共通しています。決して特別なことでも何でもないのです。

ただ、ランは原産地が熱帯ないし亜熱帯です。冬は暖かく保つてやらなければなりません。こうした点が、「ランはむずかしい」と見られがちな原因になっているのです。

適正温度は種類によって異なりますが、一般には、冬の夜間の最低温度が15度に保てればよい、と思ってください（18度〜20度必要なランもあります）。現代の住宅は空調が行き届いており、冬でも室内は暖かいですから、居間などで栽培することもできます。しかし夜間、住み手が眠っている時間帯には居間の温度が下がり、特に明け方頃になると冷えきってしまいます。これでは、ランは育ちません。

ランを栽培するなら、やはり温室を設けるのがベストです（アマチュアの人々が趣味で少

し栽培するための、小型の温室もあります。

ちよつとした収納棚ぐらいの大きさで、室内にも置けます。ちなみに「温室」とは、暖房設備を備えたガラスの部屋のことです。

温室の暖房方法には 2つの種類がある

温室の暖房の方式は、私達人間のためのものと同じく、2種類あります。

一つは、温室内で燃料を燃やす「直接暖房」で、具体的には、ストーブや温風機を使います。

これは簡便ですが、様々な欠点があります。ランのためによいとはいえません。

まず室内の温度にムラができ、特に機器の周囲は非常に高温に（温風機の場合、ヒーターの近くは100度近くに上昇）なってしまいます。また温風があたると植物はいっぺんにダメになるので、温風機を使う時は、温風を避けて配置しなければなりません。直接暖房を採用する人は、室温をなるべく平均にするためダクトを付けたり、温風があたらないよう温風機の前に濡れた布を垂らすといった工夫

をしています。万全ではないのです。

さらによくはないのは、空気が乾燥することです。生き物には適切な湿度が必要で、ランの場合ですと、大体平均して60〜70%の湿度を必要とします。湿度が下がると、ランはうまく育ちません。ことに開花時は非常に悪い影響を受け、満足につぼみが開かないのです。極端な場合は、つぼみそのまま落ちてしまうこともあります。そして、咲いても花持ちが悪くなります。

ですから直接暖房を使った温室ではよく加湿器を付けています。最善の方式でないために、余分な神経を使わなければならないわけです。

ラン栽培に適するのは 湯を使った間接暖房

もう一つは「間接暖房」で、これは一般に、ボイラーで沸かした湯をパイプで温室中に回す「温湯暖房」を指します。パイプは床に埋めたりせず、床の上（主にランの棚の下）を通しますが、原理的には人間用の「温水式床暖房」と同じです。





よく、温水式床暖房は健康によいといわれます。それと同様に、植物栽培にも温湯暖房が最適です。温湯暖房は、60度〜65度ぐらいの湯を床に回すことにより、温室全体を均等に、ゆっくり暖めます。温風機のような高温の熱は、植物にとってあまり好ましいものではありません。それよりも低温の柔らかい熱の方が、はるかによい環境をつくり出せるのです。空気も乾燥せず、適度な湿度が保てます。

ボイラーは、昔は石炭をくべていました。しかしこれですと、一気に大量の湯を沸かし、太い管で送り込まなければなりません。そこで最近では、コンスタントに熱を補給できる、重油や石油のバーナーを使うようになってきました。これなら少量の湯を沸かして、スピデーに回すことができます。湯を回す管も、昔は直径3〜4寸だったのが、今では大きな温室でも2寸ぐらいで十分です。管そのものも、ヒダのある「エロフィンパイプ」(材料は亜鉛メッキを施した鉄か、合金)が普及してきました。普通の鉄管に比べて放熱面積が3倍あるので、効率のよい暖房ができます。さらに近年、銅の面状発熱体で高性能のものが出ており、温室も本格的な放射熱暖房の時代になったことは花を愛する者として同慶の至りです。



次善の策として パネルヒーターもある

温湯暖房がよいとはいっても、趣味で小さな温室をつくらせているアマチュアの人は、なかなか採用できません。ボイラー置き場をつくり、配置するのは、結構費用がかかるからです。

家庭用温室向けの暖房としては、電気温床線[※]があります。電気コンロのニクロム線のようなものを、棚の下に貼る方法です。一か所からの放熱温度は低く抑えられており、たとえ線に触れても焼けるような熱さではありません。

これをもっと進めた形にしたのが、電気のパネルヒーターです。ヒーターを内蔵し、パネル全体が放熱するようにしてあり、棚下に置いたり、ぶらさげたりします。人間用の電気式床暖房と同じ原理、といってよいでしょう。部分的に棚下に置くとそこだけ乾燥してしまう、といった欠点はありますが、ストーブや温風機よりは優れており、イニシャルコストも安いので、よく使われています。

ところで、植物を育てる際には、新鮮な空気のこと忘れてはなりません。最近では省エネの考えが進み、温室にガラスの代わりに貼る二重構造の板(材料はアクリルまたはポリカーボネイトで、間に空気層をつくる)が

開発されています。これを使うと断熱効果が高まり、燃料の節約になります。さらに内側に保温幕を張ると、夜中にほんの少しボイラーを焚くだけで、温室内を適温に保てるというところで、積極的に試みる例が増えてきました。

しかし二重構造に保温幕、という温室で植物を栽培すると、作物にせよ花にせよ、どうもできがよくなりません。あまり密閉し過ぎて、換気されないためです。省エネは大切ですが、そのために気密性を高め過ぎるのは考えものです。

空気だけを暖める空気暖房ですと換気をする熱は皆逃げてしましますが、放射熱暖房ですとその面でも有利です。

私はラン栽培の専門家なので、ランの話をしてきましたが、ランに限らずあらゆる植物ひいては人間を含めたすべての生き物にとって、よい環境[※]の基本条件は等しいと思います。

(国際園芸株式会社代表取締役、蘭・第12回世界会議審査委員長)

〈蘭・第12回世界会議〉

世界中のラン愛好家、及び愛好家団体が集まって、3年に1度ずつ「世界蘭会議」という「ランの祭典」を行っています。第1回は1954年にアメリカ・セントルイスで開かれ、以後、ロンドン、シンガポール、シドニー、フランクフルトなどで開催されてきました。第12回は1987年3月に、東京で開催されます。世界蘭会議の内容は、ラン科植物に関する研究発表や講演(ホテルセンチュリー・ハイアット)のほか、ランの展示会(小田急線・向ヶ丘遊園)で、コンテストも行われます。合田弘之さんは、その審査委員長を務める、日本におけるランのオーソリティーの一人です。

降りしきる雪の日も 草花が咲き乱れる室内は常春

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

北海道／田島さんの住まい



①玄関ホール。床、壁、階段と木目の美しさが重厚な雰囲気を演出しています
床・合板フロア

②外観。丹精込めて育てる花々がよく見えるように、また採光のためにも開口部が大きくとられています

家族構成／夫婦(主人51歳)＋子供
2人(女25歳・19歳)

地域指定／建築基準法第22条区域

建ぺい率／70%

容積率／400%

構造／木造2階建て

敷地面積／957㎡(290坪)

床面積／165.00㎡(50坪)

1階／107.25㎡(32.5坪)

2階／57.75㎡(17.5坪)

床暖房／居間、台所、便所 壁暖房

／寝室、2階洋室2室 給湯／4か所

設計・施工／鈴木建設(鈴木三郎

☎01266美唄7-2805)

床暖房施工／長田暖房工務店

竣工年月／60年8月

カメラ／佐藤成範



「前の床暖房は床が冷え込んでくるのですよ。だから冷え込まない温水式床暖房に変えました」

田島さんのお宅には花がいっぱいです。その花が、表からも見えるように開口部が大きくとられているほど、建物も花中心に設計されています。ふつうの暖房では植物をすぐ枯らしてしまいましたが、太陽光線と同じ原理のこの輻射熱システムによる柔らかな暖かみがある床暖房では、室内の草花を元氣よく生長させるのです。この点でも花の好きな田島さん一家は、大変喜んでいました。雪が降りしきる夜も、田島さんの家では花々がイキイキ

と輝いているのです。田島さんの家では、2年前から床暖房を入れていましたが、60年夏に、家を新築するに当たってこの温水式に切り換えました。「以前は他のメーカーの金属パネルにじゅうたんを敷いた床暖房でしたが、冬はよくても春と秋が、困ってしまうんです。床暖のパネルの冷たさがじゅうたんを冷やして逆に寒くなってしまうんですよ。ですから、スイッチを切った状態でも部屋の床を冷やさない床暖房ということで、これを選んだんです」他の工法の床暖房パネルはタタミ一畳分くらいが大きさがあり、床の上に敷きつめて使うわけです。田島さんはその上にじゅうたんを敷いていたのです。当然金属パネルの冷た

さはじかにじゅうたんを冷やします。今回採用した床暖房方式は、床板の下(つまり根太の上)に銅の面状発熱体を敷設する方法ですので、床板を暖めて暖房します。この方式であれば暖房をしていない季節も、金属パネルのように熱を奪うことはありません。四季のある日本で、冬のことばかりで、あとの季節は不快というのは困ります。「北海道の冬は長い。だからこそ暖房していない季節を大事にしたい」(田島さん)雪に耐えて暮らす北国の人らしい思いをこめて、床暖房を選んだ理由を語ってくれました。



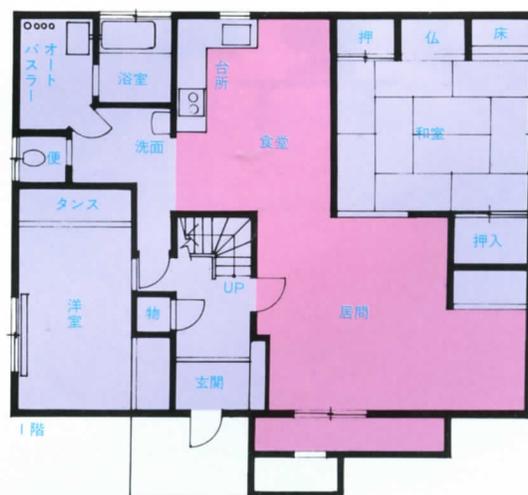
⑤床暖房の居間。ゆったりとした空間が開放感を感じさせます。1階の床暖房はすべて20度C以下になると自動的にスイッチONとなります 床・じゅうたん

⑥防災を考慮して天井に耐火ビニールクロスを使った床暖房の台所兼食堂 床・長尺塩ビシート



③2階東側の洋室(10畳)。子どもが使う2階は壁暖房になっています。ベッドの部屋は壁暖房にしたとのこと。使い心地は床暖房同様快適で、暖まる時間が早いということです 床・合板フロア

④花模様の入った壁が美しい床暖房の便所 床・長尺塩ビシート



園芸家が太鼓判を押した 草花の生長を助ける床暖房

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

神奈川／中島さんの住まい

① 外観。1階が店舗です



床暖房／居間、食堂、台所、和室、浴室、洗面所、便所
給湯／4か所
設計／須賀田建築事務所（☎03東京320-4008）
施工／リム横浜（☎045横浜903-2591）
床暖房施工／富士プラント・アルコ（☎03東京348-3801）

カメラ／佐藤成範

家族全員、床暖房を入れた 板張りのリビングに 入りびたり

「部屋の中に花をおいても、花が生き生きしています」

笑顔でこう語る園芸家の中島さんは、給湯兼用の温水式システムによる床暖房に大変満足している様子です。

商売は花屋さんです。たくさんのお花が店内ばかりでなく、住宅の中にも咲いています。短い花の命を大事にしたいと願う中島さんにとって、暖房は大敵だったのですが、温風から床暖房に切り換え今ではもうすっかり味方ややさしい肌ざわりです。

中島さんはこの温水式床暖房の資料を見て、実際に東京・新宿のショールームでその暖か

さを確認したそうです。

「設計事務所に尋ねてみたら、かえってすめられました」とのこと。

例えば当たり前のことですが、「ショールームで実際に触れたあの温もりが、今わが家で得られてうれしいです」とニコリ。

この床暖房は、太陽光線の原理と同じ輻射熱による暖房なので、心地よい自然な暖かさが得られます。それは室内においても生き生きと育つ草花の生長ぶりが、何よりも雄弁に物語っています。

草花によいものは人肌にも良好です。

お店は大変忙しい毎日です。

「そんな中で家事をやりくりしているので、万一スイッチを切り忘れても、安全な暖房であることがとてもうれしいですね」と奥さん。

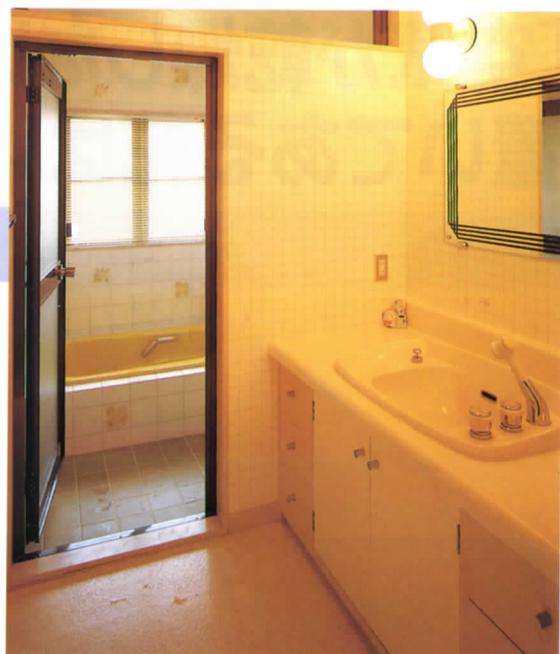
中島さんのお宅では、「家族みんなが、板張りのリビングルームに入りびたり」です。



② 床暖房の和室。輻射熱による床暖房は草花にもやさしい温もり床・タタミ



④ 収納豊富な整理された床暖房の台所
床・フローリング
⑤ 開口部が大きく明るい、床暖房で暖かい居間 床・フローリング



⑥ 床暖房の洗面所と浴室
床・長尺塩ビシート、タイル



「空気が乾燥しないから部屋に置いてある花はいつも元気」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

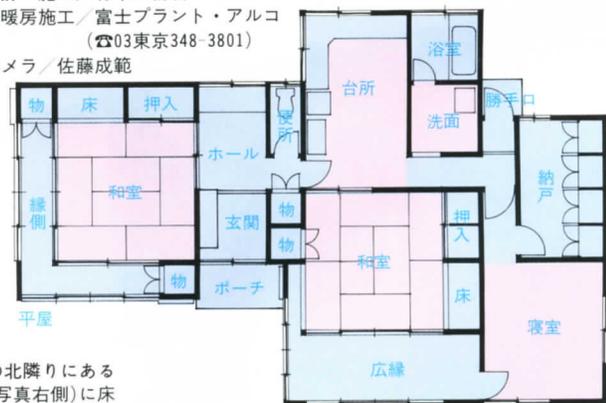
“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

山梨 / 坂本さんの住まい



①木造平屋建ての坂本邸の外観。景観にめくまれた高台にあって環境抜群

設計・施工 / 竹中工務店
床暖房施工 / 富士プラント・アルコ
(☎03東京348-3801)
カメラ / 佐藤成範



②玄関ホール。この北隣りにある台所の入り口の壁(写真右側)に床暖房の各部屋のスイッチがあるので、帰宅したときのスイッチONや就寝時のOFFに便利です

冬の寒さは厳しいが眺望絶佳

東側の障子を開けると。「まるで掛軸の絵のような山波が、とてもすばらしいんです」

南の窓からは、真正面に富士山がそびえています。夜、西の窓を開ければ、

「まあ、100ドルとはいえないかもしれないかもしれませんが、ネオンに輝く50万ドルくらいの夜景が見えるんですよ」

富士吉田市郊外の高台にある落ち着いた木造平屋建て、坂本邸のおばあちゃんは、静かに微笑んでこう語ってくれました。

このところ、身体の具合がおもわしくなくて、病院に入院したのですが、どうしても家が恋しくて帰ってきてしまったといっています。

それというのも、寒くなりはじめた秋雨のこの日、夕タミに触れながらおばあちゃんが語るには、玄関ホールと納戸以外の各部屋の床下に張りめぐらされた、床暖房のやわらかな温もりと便利さが忘れられなかったからというのです。

おばあちゃんは、この家を新築するにあたって雑誌を四、五冊読み、そこで床暖房の良さを知り、暖房はこれだと決め、竹中工務店を通して依頼したとのこと。

冬はマイナス10度から15度くらいまで冷え込むこの地方の寒さは厳しいものです。

ところが、おばあちゃんの話によると、たとえばストーブは顔がほてるし、天井ばかり熱くなって足元はぬくもらない。灯油を入れるのもめんどろんで、危ない。ヒーターは燃料費が高い。

「台所をさらくください。うちは瞬間湯沸かし器がありません。でもいつでもお湯が出て、お風呂にも好きなときに入れます。空気が乾燥しないから部屋の花も元気です。燃料費も割安だと思いますね。この温もりが、からだ



③ 富士山が見える南側の客間。この床暖房のサイズは日本建築の寸法に合った多種類のタイプが用意されているので、どんな部屋にも施工できます。また三角や湾曲した間取りでもOKという万能型。床暖房ユニット自体が根太として使用できるので工期の短縮と建築費用節約にも役立ちます（床暖房）床・タタミ



④ 玄関の北隣りにある居間。この部屋のコタツも床暖房のコタツです。寝室に通じる廊下の幅は広く、「夏はゴザを敷いて、ビールを飲みながら景色を眺める場所」とのこと（床暖房）床・タタミ

に一番いいですよ。わたしはもう何もいうことはありません……」
入院先の病院のベッドからわが家に帰ってきてしまったおばあちゃんは本当に嬉しそうでした。



⑤ 洋風の寝室。花の好きなおばあちゃんは廊下ばかりでなく、ここにもきれいな花を置かれていました (床暖房)
床・カーペット



⑦ 洗面所、浴室 (洗面所のみ床暖房)
床・長尺塩ビシート



⑥ 台所。床暖房は改造の場合でも、敷居、幅木、建具等の高さに変更なく、簡単に施工できるユニット組み合わせ式 (床暖房)
床・寄木合板

「幼い子供にも安全だし、室内の植木も枯れません」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

東京/長瀬さんの住まい



①床暖房だからこそ、こんなに広いワンルームのLDKがとれました
床・フローリングにじゅうたんピース敷き



②床暖房設置の食堂
床・フローリングにじゅうたんピース敷き



③床、壁を同じタイルでまとめた床暖房の浴室



⑤床暖房を設置し、トップライトで採光を図った2列型の台所床・フローリング



④床暖房した快適な便所
床・長尺塩ビシート



長瀬さんご夫妻

セントラル暖冷房時代はノドをいたためがちでした

中央線・西立川駅から程近い長瀬邸は、ベージュの明るい外壁と雁行した屋根がリズムカルに青空に映えるモダンハウスです。ワンルームのLDKは、腰高の飾り棚でリビングとキッチンを仕切りながら空間的にはつながったのびやかなプランです。この家にはLDKと洗面所、浴室、便所に床暖房が施されています。以前の住まいは、セントラル方式による全館暖冷房のため不経済で、またご主人が扁桃腺炎を病んでいてノドを痛めがちでした。このため新しい家を建てるについ

ては、暖冷房の選定が最も大きなテーマになりました。

たまたま近くの住宅展示場で知り合った設計士さんが、床暖房を推せんしてくれました。実際にその家を見学してその良さを確かめました。それと前後して、ご主人が青年経営者クラブの企業視察のため韓国に行く機会があり、オンドルによる床暖房の快適さを実感したことも、採用の要因になりました。

電気パネル式よりランニングコストははるかに安い

「床暖房を採用した理由は、まず火気が直接表れていないので安全だということです。そして足元が暖かいというのは、体に寒さを感じないということで、床暖房の輻射熱は暑からず寒からず意識させないくらいです。特に幼い子どものためには最適といえます。以前のセントラル方式の時はよく植木が枯れたものですが、床暖房は空気を乾燥させないからそういうこともなくなりました。特に気に入っているのは浴室です。洗い場が暖かいので、下から上まで温度差がなく、まるで温泉みたいに快適です。ランニングコストの面からは、電気パネル式のものと比較すれば、はるかに安上がりといえますね(ご主人)。



家族構成/夫婦(主人36歳)+子供3人(女6歳・4歳、男2歳)
床暖房/居間、食堂、台所、ユーティリティ、洗面所、浴室、便所 給湯/4か所
床暖房施工/山一冷凍設備
竣工年月/60年8月
カメラ/大竹静市郎

観葉植物も健康そのもの すくすく育っています

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

山形/マローズ ショップ

①店内では、床暖房の心地よい暖かさのおかげで植物の生き生きと成長する姿がみられます。空気を乾燥させず、人肌にやさしい温もりを与える輻射熱は、植物に対しても同じ原理でやさしく包みこんでくれます。人間も植物も、無理を強いられればからだが強ってしまう、同じ生き物なのです

冬でも店内は快適な春の気分
植物は、手づくりの焼き物を
引き立てて生き生き

山形県で花鉢やプランター、レリーフ、彫刻など五、六百種類の手造りの焼き物を販売しているマローズショップでも61年11月、温水式床暖房を入れました。

店内の装飾用として観葉のグリーンを店内に置いています。

このグリーンを、この冬、枯らしてしまうわけにはいきません。

「これは植物ですから、枯らさないかぎり、何年も持つわけですね。もし枯らしてしまつたら何十万円という損害を出してしまうんで

すよ。こう語るのと同ショップの工場長。以前の暖房は灯油ストーブを使っていたが、はじめてグリーンを入れた61年、冬を迎えるに当たって不安になりました。

園芸家の間でも人気の床暖房ですがマローズショップの知り合いの間屋さんにも、床暖房が効果的だとすすめてくれました。その間屋さんには床暖房を入れていたわけではありませんが、これからは住宅を中心に床暖房がどんどん普及していき、園芸などグリーンを商売とする職域にも不可欠となるだろうとのことでした。

マローズショップとしても独自に研究して間屋さんよりいち早く床暖房を導入することになりました。

開口部の大きな明るい店内には、鉢に植えられた様々なグリーンが生き生きと葉をのびし、美しい彫刻を一層引き立てています。もしこの植物が枯れてしまったら、植物そのものの損害だけでなく、店全体のイメージダウンにつながってしまうでしょう。

植物にとって大敵なのが温風暖房です。この暖房はただ空気を熱し、乾燥させてしまうのですから、植物が耐えられるはずはありません。

温水式による輻射熱の暖房は、太陽光線と同じ原理ですから、心地よい自然な暖かさが得られます。

室内においても、植物が生き生きと成長する姿が、何よりも雄弁に物語っています。





② マローズショップの外観。前庭にも自慢の彫刻がいくつか置かれています。窓を通して見える室内の植物は、店内の展示品を引き立てる大切な役目を負っています。年期の入った職人の手造りによる商品の種類は豊富です

③ 見てまわるだけでもたのしい店内です。床暖房によって床から店内全体が暖かく、力強く生きつづける観葉植物のおかげで、寒さの厳しい真冬でも室内は春の気分。思わず長居をしてしまうマローズショップです

床暖房施工 / 林株 (☎0236山形
43 4408) カメラ / 齋部 功



「人の体に良いものは植物にも良いはずですから温室も床暖房にしたい」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

「健康な住まいと暮らし」を実現する
床暖房派が急増中

高知 / 森さんの住まい



①玄関。左手の茶の間に床暖房を設置

②森邸の外観



③台所・食堂(店)床・じゅうたん

家族構成 / 夫人(主人63歳) + 子供1人(男32歳)
床面積 / 158.4㎡ (48坪)
床暖房 / 台所2か所、和室4.5畳、8畳、8畳
給湯 / 4か所
設計 / 坂本清郎 (☎0888高知75-9394)
施工 / 加納泰秀 (☎08802窪川2-0458)
床暖房施工 / 三栄商会 (☎08802窪川2-3434)
竣工年月 / 59年3月
カメラ / 絹巻 豊



④「床暖房は快適で経済的」とおっしゃる森さんご夫婦



ストーブと比べると環境に格段の差があります

森さんは長年教職についておられた方で、退職して家を建てる時に床暖房を採用されました。

「最初は、南国・高知で床暖房なんてぜいたくではないか、とも考えました。しかしこれからは快適な環境で好きな書道に専念したいと思っていたので、思いきって付けた」のです

床暖房は、その期待を裏切りませんでした。「時には12〜13時間ぐらいたびつ通して筆をとりますが、ストーブと比べると環境に格段の差があります。風がスースーしないし、不快な音も出ないので、集中できますね。それに空気が乾燥しないせいも、墨の伸びもよいのです」

循環する湯によって温める風呂も、気に入られたそうです。健康のために、酒風呂を愛用している森さんにとって、風呂が間接加熱のために酒がこげないと大喜び。そして給湯

方式と違って、毎回湯を捨てずすむので、「経済的に楽しんでいます」とのことです。

すっかり床暖房党になった森さん、最近はランの温室を床暖房と同じ輻射熱方式に変えられないかと検討中。「人間の体によいものは、ランにもよいはずですから」といいます。

工務店や大工さんはもっと勉強してほしい

ところで森邸では、床暖房がスムーズに施工できなかったのだそうです。

「私は純日本風の家を建てるつもりで、工務店にもその希望を伝えたところ、当初は日本住宅には床暖房は向かないといわれましてね。随分すったもんだしましたが、幸い工務店も、その後、熱心に勉強してくれて、このとおり立派に完成しました。普通の場合は、工務店や大工さんの言いなりになって施工できないこともあるそうです。工務店や大工さんは専門家なのでもっと勉強してほしいですね」と森さん。

⑤「タタミに床暖房はどうかと懸念していましたが、十分に効果的です」と森さん 床・タタミ

「温風暖房時代は室内が乾燥し、植物がしおれて困りました」

全国(北海道から九州まで)
縦断ユーザーレポート

床暖房の家

“健康な住まいと暮らし”を実現する
床暖房派が急増中

奈良／梅田さんの住まい

① 床暖房を設置し、モーニングカウンターを設けた広い食堂、台所 床・フローリング





② 建物は半地下室（ガレージほか）のある3層になった堂々とした外観



③ アプローチ回り



2階



1階

家族構成 / 夫婦(主人38歳)+子供2人(男11歳・10歳)
 敷地面積 / 514.80㎡ (156.00坪)
 床面積 / 389.40㎡ (118.00坪)
 1階 / 198.00㎡ (60.00坪)
 2階 / 132.00㎡ (40.00坪)
 地階 / 59.40㎡ (18.00坪)
 地域指定 / 第1種住居専用地域
 建ぺい率 / 40%
 容積率 / 80%
 構造 / 鉄骨造一部RC造2階建て

床暖房 / 居間及びタタミコーナー、食堂、台所、家事室、浴室、和室 給湯 / 12か所
 設計 / 井上建築設計事務所 (井上隆彦 ☎06大阪746-7015)
 施工・監理 / 奈良中央ナショナル住宅 (☎0742奈良33-1571)
 床暖房施工 / 小林住設
 竣工年月 / 60年8月
 カメラ / 大島勝寛

タタミや板張りの床に設置できるのが気に入りました

梅田さんは新居の暖房は床暖房に、と心に決めて新築の準備にかかりました。土地を購入してから約二年の準備期間がありました。土地を掘り、じっくりと時間をかけたので、平面プランもインテリア、エクステリアもほぼほぼ思いどおりにいったようです。

外観はあまり目立たせず、しかも個性は失わないように心がけたデザインです。平面プランでは、採光、広さ感、機能性がすぐれるように配慮してあります。また、梅田邸の周辺は整った住環境で、遠くに山波も望める場所なので、借景もプランの中でポイントにな

床暖房のまったりした暖かさは何ともいえない

梅田邸では床暖房は1階のパブリックスペースを主に設置していて、2階の居室には用

つています。凶面を見るとおわかりのように、1階、2階ともバルコニーをめぐらして景色を迎え入れています。

さて、床暖房は給湯兼用の温水式を採用しました。説明に訪れた係員の手柄に引かれたことと、このシステムが気に入ったことあります。タタミ敷きの和室、板張りの床の双方に床暖房できることと、お湯がふんばんに使えるシステムは、梅田邸のグレードによく合ったからでしょう。

梅田邸では床暖房は1階のパブリックスペースを主に設置していて、2階の居室には用

いていません。日中、長時間すずすところと家事作業に快適さを求めたからですが、まだ一冬越してはいませんが、「まったりとした暖かさは何ともいえないいい気持ち」と梅田さん。田居ではセントラルヒーティングで暖房していましたが、室内が乾燥しすぎて、家具が反ったり、植物がしおれるなどのウィークポイントがありました。これも床暖房では全然心配ないそうです。

給湯個所は12か所。床暖房と給湯設備が組み込まれたシステムを大いに利用している梅田邸ですが、グレードアップした暮らしを反映してか「燃料費(灯油代)が当初予想していたよりかかりそう」との感想です。しかし、床暖房の快適さは燃料費が高くなった以上に、あまりあるようです。



奥さんと息子さんたち

④ 床暖房の和室と広縁
床・タタミ、広縁の床・フローリング



⑤ 洗面、脱衣室から浴室を見る
(浴室) 床・タイル

⑥ 居間には掘りごたつがあるタタミコーナーがあります。掘りごたつはもちろん床暖房